

奇跡のかずかず



学校法人石川学園 狭山ひかり幼稚園
創立 40 周年記念事業・園舎建築実行委員長
前園長

東 喜代雄

もくじ

(文中のカットも筆者)

園舎建て替えの理由	1
どうせつくるなら	1
設計者のこと	2
園児減少のはざま	3
理事会の議決をいただき	4
不安のかずかず	4
最大の不安、そして問題点	6
募金活動と善意の捧げもの	6
やはり奇跡の連続	8
建築に取り組んだ人たち	10
園舎の見事さ	11
これからのこと	13

建て替えの理由

この数年来私の頭は「天災、ことに地震が起こつて園舎が被害を受け、それによつて人が出るようなことがあつたらどうしよう。」という不安でした。人身事故があつたら首をくくるくらいでは済まないからです。この四〇年で大きな地震が起こるたびに建築基準法が改正され、耐震構造について国の規準が厳しくなりました。そのため一九七〇年建築のひかりの木造園舎は、今や法律に則らない園舎になっていました。

園舎の老朽化も深刻でした。雨漏り、床の破損、ドアの開閉不能、古ぼけた木造の園舎はなるほど年を経ています。そのたびに修繕し丁寧に使ってきたのですが、見学に来た人が、あからさまに「古い」「汚い」と言われるとやはり悲しくなりました。個人的にはこれだけ手入れをして、遠慮しないで気軽に使えることはむしろ誇りだと思つていたのです。

何より子どもを育てることに「環境」は大きく影響します。ですからいくら口先できれいごとを言つても園の環境がきれいではなく、まして生命を守ることには不安があるとあつては、「教育以前」と言われても仕方ありません。

さらにもう一つ。創立時に受けた「恩義に

報いなければ。」という思いが、私にはずつとありました。全く個人的なことですが。

いま私たちはあたふたして園舎改築を模索しています。義父石川求助は公私の職（埼玉県議会議員、狭山市長、川越蚕種株式会社社長など）を辞し、老年になつて病気を抱え、天に召される一年半前にポケットマネーでこれだけの幼稚園を一人で造つてくれたの



です。四〇年間も彼の情熱と温情にぶら下がつて仕事をさせてもらうだけでいいのか、私は石川求助の精神を今こそ受け継ぎ、園舎を再生させる、これが恩義に報いる道だと思つていました。

どうせつくるなら

園舎改築は必然の要求となりました。先立つものはともかく、折角造るのなら

① 幼児教育の使命を見える形において表現したい。「幼稚園教育要領」第1章「総則」は、「幼稚園の教育は、環境を通して行う」と明記しています。ここでいう環境は必ずしも物的な環境だけを指すものではありません。しかし精神の柔らかい幼児期に経験する物の印象は一生にわたつて作用します。彼らが人間の基盤、人格の核を形成する幼児期に「よりよい環境」を提供することは大人の義務だと思ひます。

② 狭山ひかり幼稚園が保育の中で模索してきた中心思想、つまり「子どものための園、子どもを中心に据えた花園」を、ことばや空ごとでなく見える形で形成したい。それは子どもの人権と子どもの目線を尊重することです。彼らの存在とありのままの姿が尊重され、彼らが自己充実のために主体的、意欲的に取り組める時空を保証することです。幼児がすべての環境を「おらがもの」として活用し、「生活により生活を生活へ」いきいきと自分たちの生活を発展させていく花園です。

③ 幼児を大切にするということは、一人ひとりの個性が最大限に尊重され、よき、特長として受け入れられることです。ひかりは創

立以来インクルード保育、ノーマライゼーションを重要課題としてきました。障がいのある無に関係なく、子どもがかけがえのない存在として尊ばれることです。当然車いすも介護用具も自由に行動できるバリアフリーでなければなりません。特別支援の立場からみんながら大切にされる環境を作らなければなりません。

④子どもが育つ環境というのは、子どもにやさしく、子どもの気持ち安定する場です。ペスタロッチは「人は環境を創り、環境は人を創る」と喝破しました。子どもたちが安定して生活するためには、精神的に安らぐ居場所が必要で、そこにいることが楽しい、嬉しい、安心する。いわばリラックスして夢中になって遊びこめる環境です。そこで人間関係が広がり深まり高まる。そうした空間を人為的意図的に創ることです。幼稚園は「アメニティー空間」であつてもよいのです。

⑤地域の歴史や風土から、この町にマッチした佇まいを創造したい。当地には先土器時代、縄文時代から川の兩岸に人々が集落を築いていました。遺跡も数多く残っています。鎌倉時代には幕府と関東武士団を結ぶ往還がここを走っており、新田義貞も源義仲もこの道路を走りました。秩父の山並みを遠望し、入間川の清流にうるおされたこの土地は、昭和の初めまでは国の産業を支えたカニコを

飼う農業と、糸をとり絹織物を紡ぐ工業が栄えました。近代になると東京のベッドタウンとして急速に発展しました。

私は奥武蔵と関東平野をつなぐ起伏に満ちた土地柄と歴史と文化、四季の変化、厚い人情を反映する建物を創りたい。そのために新しい幼稚園には奥武蔵で採れる良質の西川材(江戸の西の方から川を下って送られてきた木材の意)をふんだんに使い、地域産業の一助にしたい。躯体まですべて木材とし、



外壁はこのほど国土交通省が人の集まる場所にも使用認可したレッドシダーと呼ぶ木材。そして敷地内には武蔵野に群生する木々をたくさん植えたい。野鳥や昆虫が訪ねてきたらどんなに嬉しいことだろう。

大空の広がり、緑の木々を生かすために園

舎は大き過ぎず、威張らず、人にやさしい木造平屋としたい。山にも川にも都会にも近い地の利を生かしてきめ細かい保育計画を立て、地域性に密着した保育を展開したい。

⑥建物は建築美というか造形としての美しさ、機能としての美しさを最大限に追求したい。航空機も新幹線も、レーシングカーも機能として優れたものは、どこにも無駄がなくシンプルで、造形的に美しいものです。見る者に心の豊かさやときめきを与えます。子どもが生活しやすい幼稚園は機能として見ると、きつと造形的にも美しいものだと思います。

⑦次世代に通用する地球環境を視野に入れた園舎にしたい。エコは時代の命題ですが、太陽光、明るさ、自然の風を最大限に利用する天窗、FRP光源、雨水利用タンク(ドイッ製雨水コレクター接続)、浸透マス設置、野芝の植栽、外の物置の屋根には土を入れて屋根上で植物を育てたい。

今回は検討の結果太陽光発電は導入しませんでした。太陽熱温水器は設置しました。

設計者のこと

ここまで考えてくると園舎の設計者は大変な哲学と能力が要求されていると思われるでしょう。私は出来たら狭山で生まれ、狭

山で育ち、狭山の自然と人々を愛している人が適任と思いました。

幼稚園はこれまで三六年間、卒業証書に代えて（証書もあるのですが）銅板に子どもが絵を描き、教員が園児の長所やエピソードを三行の詩にまとめて毛筆で書き、薬品でエツチングを施し、さらにクロスを張った台座に取り付けて、卒園式席上一人ひとりに手渡ししてきました。それは園にとつても製作者にとつても大変な努力を要求します。この作業を支え実際に労をとつてくださったのは安宅家の人々でした。安宅家とは二人の子ともたちが三歳のころから三七年來の付き合いです。その長男こそ今回設計者として委嘱した安宅研太郎くんです。

周囲にはまだ若い、経験が足りない、実績は未知数など不安要素もありましたが、彼の能力、意欲、センスはもとより、結構頑固でぶれない精神をもっています。家族四人が全員東京芸術大学大学院修了で、しかも現場で活躍しています。卒業生が母校の設計監理をするというのは楽しいではないか。二〇〇九年八月二六日、ついに設計監理について契約書を交換し、本格的な設計に入りました。今になって考えると設計者は卒園生、施行者は卒園生の父親、職人さんたちもほとんどが地元住民です。設計にも工事にも雑用にも私達はわがままを言い続けましたが、それが

通ったのはこうした関係があったからだと思えます。

園児減少のはざま

このところ園児数はじり貧状態です。このままいつたらさらに減少するのではないかと思われまます。みんながきれいな住宅に住み、冷暖房完備、トイレは座式で洗浄器つきは当たり前前、至れり尽くせりの家がほとんどです。幼稚園もそうしなければいけないのでしよう。



そんなわけで「園舎が新しくなったら園児はふえますよ。」と言つてくださる人もありました。

でも私には園舎の美しさよりも、一般の人々の関心は「忙しくストレスに満ちた世の中で、子育てから手が抜ける幼稚園」「人間

関係のわずらわしさから逃避できて、好きなように楽ができる生活」が求められているように見えます。

社会進出や家庭の事情で、仕事をしなければならぬ人がいるのは十分に理解している積りです。社会も女性の進出を要求しています。男女共同参画、性差を越えて大いに活躍してほしいところです。応援もしたいと思つています。

しかし同時に専業主婦で家にいるのは時代遅れで肩身が狭いように思う風潮があるのも事実です。「家にいてもつまらない」と思っている人が以外に多いのです。子どもは産んでも、育てるのは国や行政。親が手塩にかけるより他人に任せる時代です。なるほど子どもはみんなの宝、みんなで育てることが大切です。それでも子育てのベースは家庭にあることを忘れてはいけません。

とにかく幼児にしわ寄せが行かないことを現場人として祈ります。もししわ寄せがあったら、そのツケは誰が払うのでしょうか。テレビや新聞で毎日のように報道される犯罪や問題行動は、こうした幼児期に手塩に掛けられなかったツケだと思つていきます。米国の受刑者の九割弱は、幼児期に何らかの虐待を受けた人だと連邦政府は報告しています。親から見放されたかと思ひ実際に放棄され、表現しても聞き入れられない環境に育つたの

です。自己肯定感が得られていないのです。日本でも身体的、心理的、性的虐待、ネグレクト（育児放棄、看護放棄）は年とともに増え平成一九年度に四万件を超え、その後も毎年二万件のペースで増えています。（厚労省二一年度発表）

ひかりが大切にしている「学びつつ育ちつつ」（地域の子育てセンターとして）「ともに育ちあう共育」（子育てのネットワークづくりと育ち合い）「地域のセンターとしての幼稚園づくり」（地域に開かれた）は時代に即応せず、文部科学省や行政の掛け声だけのように見えます。いくら待機児童が解消しても、次の日には待機児童が生み出されています。教育は多数決やアンケート方式では出来ません。子どもを育てるためには言いたくないことも言い、嫌われても評判が悪くても、いけないことはいけないと教えるのが教育です。つまり人におもねない側面が大切です。現実を見ているとおとなたちのご機嫌とりに終始し、票に結びつく多数決に押し流されています。価値観多様化の時代ですが、行きつくところがモンスターペアレンツではないでしょうか。

現に幼稚園には、通園バスが自宅の前に横付けする。給食の回数が多い。親が園に行かなくてもよい。長時間にわたって預かってくれる。あれこれ教えてくれる。これが園児募

集の最低限の条件となつていきます。これを五種の神器といえます。とにかく子育てから手が抜け、他人任せで省力化出来る幼稚園が繁盛するのです。

もちろん園には「こう考える」という主体性、指導性と同時に、保護者たちの声を丁寧に関き真摯に対応する客観性を備えていることが大切であることも知っています。



理事会の議決をいただいて

これらの思いを学校法人の理事会で最初に組上に乗せたのは二〇〇四年春でした。しかししばらくは原案承認、継続審議が続きました。それは夢のまた夢に感じられたのかもありません。

そしてついに二〇〇七年六月二三日、理事会・評議員会は満場一致で「創立四〇周年の記念事業として園舎を改築する。そのための募金活動を開始する。」と議決しました。神さまのみ心なら建築の条件はおのずと整えられていくはずだという理事諸氏の信仰的な確信が裏付けでした。

不安のかずかず

園舎を改築するといっても不安はいっぱいでした。

①まず仮園舎の建設です。工事の期間中も園を休むことはできません。場所を定めて法律（幼稚園設置基準）に準拠した建物と運動場を確保しなければなりません。敷地を外に求めて建てることも考えました。そこで市の教育委員会を訪ね二〇一〇年春に閉校となる狭山台南小学校の空き教室を一年間貸してほしいとお願いしました。結果は「当校は寿大学に転用するためすぐ工事に入る。お貸し出来ない。」と言う返事でした。市は「鶴ノ木の市有地を無償で貸しますよ。」と教育長みずから出かけて来てその旨伝えてくださいました。本当に嬉しかったです。

検討の末、仮園舎はハクチョウの池がある土地にプレハブを建てることにしました。建設費は一年間の期限付きで六〇〇万円でし

た。プレハブは基準より広く、材料は壁も床も天井もすべて新品だったので、とても気持ちよく使うことが出来ました。

②プレハブはプレハブなりに問題を予想しました。暑さ対策です。そしてこれは見事に的中しました。例年以上に猛暑で、朝から屋根上に水を撒き、スーパーストアで簾だれを買ってきて建てかけました。それも焼け石に水、少しの効果もありません。九月一日に予定していた「祖父母を招く集い」を前についに冷房機を二台と扇風機六台を設置しました。「招く集い」を終わった次の日から雨が降り出し、暑さが遠のいたのは皮肉でした。

そういえば園舎の基礎工事のうち鉄筋の敷設は七月と八月でした。職人さんたちは中屈みで鉄筋と格闘しました。ヘルメットの下にタオルで頬かむり、厚手の手袋で扱うのですが、「なにしろ熱くて鉄筋が触れない」と言いました。

③全体的な不便さ 借り住まいはやはり住しにくく不便は仕方がないところでしょう。風聞によると二〇一〇年度は仮園舎の不便を嫌ってよその幼稚園に流れた人がありました。入園手続き直前に辞退した人もありました。保護者会の中にはその年には役員になりたくない。雑事が増え、竣工しても仕事は多くなるだろう、と聞こえてきました。

しかし一月末になってこの原稿を書く段階になっても園舎のことで不満が出たり、困ったという異議は一つも聞いていません。むしろ運動会は入間川中学校、クリスマスはいのちの樹教会、美術館ごっこはあひるの家、狭山市助成の劇団風の子の公演は中学校の視聴覚室と、外部をお借りして開催したのですが、「雰囲気が変わってよかった」「これまでより変化があつてよかった」という肯定的な感想が圧倒的に多いのです。クリスマスキヤロリングの夜、爆竹を鳴らして子どもたち



を園庭に迎えるのですが、庭が狭かったせいか大きな音で不快な思いをさせてしまった方もあり申し訳なく思っています。

保護者の皆さんには不便もあつたでしょ

うが、変化を楽しみ、すべてを「よさ」として受け止めてくださいました。特に工事が始まる前にパワフルデイと銘打った引っ越しには、大勢の方が参加し、何日にもわたって精力的にご協力くださいました。本当に有難く心から感謝しています。

④入札の経験 限られた予算の中で最大の効果を上げようとする見積もりが一つのポイントになります。仕様書に基づいて四社が応じてくさいました。しかし詰めの段階で都内の二社が下りて、地元の二社になりましたが、結果的には卒園生の父親(安食一氏)が代表取締役を務めるゆたか建設が落札しました。わが子をこの園に通わせ、入園式、夜の運動会、家庭幼稚園、秋の運動会、卒園式など園行事すべてに参加し、建学の精神も保育の理念も実際も分かった人でしかも狭山市民です。会社としても地場産業にこだわ

り、木造の建築に精通している人です。始まってみると大工さんも職人さんも顔馴染みです。何より仕事が丁寧で腕のある人たちでした。そのたびにホームページに紹介したのですが、ひかりの新園舎はまさに「匠の技の見本市、殿堂、集大成、展覧会場」です。私は毎日、多い日は三度も四度も現場を訪問して建築の様子を見学しました。現場の人たちは「うるさいおやじだ。また来ている」と思われたかもしれませんが、見ているだけ

楽しく、見とれてしまったのです。工事が進むたびに「この会社にお願ひしてよかった。」と確信するようになりました。

最大の不安、そして問題点

園舎改築の最大の不安は何といつても資金の問題です。「先立つものは金」といわれます。用意できるお金は一億円、うまくいっても一億二千万円が精いっぱいでした。これまで年度を越すために預金を取り崩したこともありますし、遊具を導入するときも借金でした。お金についてはあまり書きたくないのですが、少なくとも弱小幼稚園で吹けば飛ぶような経営状態です。

そこで全面改築でなく「耐震構造化」で乗り切ろうと考えました。ところが耐震構造化改築といつても工事は大掛かりになり、その費用は新築といくらも変わらないのです。

それなら二期に分けて工事をやろうと考えました。前期が終わって支払いの目途がついてから後期の工事にかかるというやりかたです。しかし埼玉県庁は、「補助金は当該年度に着工したら、その年度内に完成しなければ出ない。」と言うのです。二期にしたら費用もかかりました。

毎年県庁からは「いつ新築する予定か」「それは耐震構造か」「建築面積はどのくらいか」

「費用はどのくらいか」などと問合せきました。私達はこの調査書を注意深く読み、対応を考えてきました。が五年前から「園舎建築は創立四〇周年の記念事業をして行うので着工、竣工は二〇一〇年度」と決めていました。設計や施工について準備は進んでいて、県庁を直接訪問したこともあります。

私の頭にはある思い込みがありました。創立して四〇年以上、木造の平屋で耐用年数をはるかに越えた老朽危険校舎、正直に運営し、埼玉県私幼連の委嘱を受けて研究発表をしたり、教育課程の研究会は常連校、埼玉県地域防災サポート事業所、特別支援事業については四〇年にわたって最大努力、預かり保育は言うの及ばず、夏休み冬休み中の長期の保育にも力を入れている。子育て支援は国の施策が始まる一〇年以上前から「このゆびとまれ」として取り組み、県の子育て支援事業にはいち早く対応している。これらが補助金の

対象にならないはずはないと思ひこんでいたのです。私は送られてきた資料から国庫補助金が四千万円か、うまくいけば五千万円を超えるだろうと予想しました。満を持して当該年度に県学事課に申請書を提出しました。ところが二〇一〇年五月三日付きで届いた県学事課長名の回答は「貴法人からご申請いただいた事業について不採択の通知がありました。」とわずかに二行の通知でした。補助金ゼロの回答です。

「落胆」「悲嘆」「失望」自暴自棄になるほどのショックでした。憤懣やるかたなくしばらくしていると園児たちの顔が目につかびました。日頃から「人間には希望がある、夢を語ろう」と呼びかけている私が、補助金が出ないことで、建築計画を頓挫させていいのか。二〇〇九年秋の運動会のテーマは「あなたの夢は何ですか。私には夢があります。」ではなかったか。こう言う時こそ夢を語り、希望を掲げるべきではないか。五千万円がないからといって中止するとは、「お前の夢は五千万円以下か。」といわれそうではには引けないと考えました。こう言う時こそ子どもたちは私の態度や表情を注目しているのだから。ここが頑張りどころと思ひました。

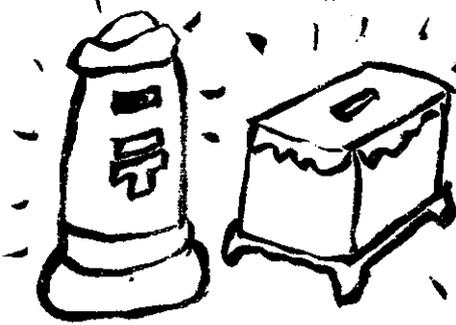


募金活動と善意の捧げもの

以前から「学校法人を月謝と補助金だけで運営するのは無理だ。」と理事長以下話し合っていました。つまり建学の精神と園のありように賛同する人によって後援会を組織し、運営資金を集める。継続的な市民運動として園の存立を図る。という考えです。大学法人は以前からやっています。

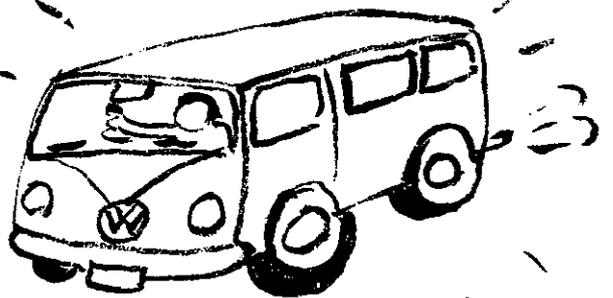
そして二〇〇八年二月、理事会は一口を五千円として目標額を定め、募金活動を始めることを議決しました。私は「明日の日本と世界のために、あなたの力を貸して下さい。狭山ひかり幼稚園園舎新築募金趣意書」なるパンフレットを作り親戚、友人、知人、故郷の友だち、教会関係者、考えうるすべてのツテを頼って手紙を書きました。もちろん二〇〇九二人の卒園生全員と在園児にも趣意書を配布して協力をお願いしました。

二〇〇八年九月から園には毎日のように振込み通知書が届くようになりました。ここでもお金のことですからあまり詳しくは書きたくないのですが、お金持ちや余裕のある人だけが募金に応えてくださったわけではありません。園内で開かれたミ



ニバザー、ガレージセールやひかりバザーの売上金、バザーには各地から献金献品がありました。ある教会では入口に園舎建築のためにと募金箱を置いて「今これだけ貯まりました。」と送っていただきました。おもちゃの貯金箱、陶器の貯金箱をそのまま持ち込んだ園児が何人もあります。会うたびにポケットに手を突っ込んで一〇〇円二〇〇円と差し出してくれた小学生もあります。あるときは一千円、二千円と送られてきました。「一口は五千円のはずだけど」と思っていると三回目「これでやっ」と一口になりました。」と添え書きがありました。子育て支援金を受け取ったのでそのうちから送ります。就園奨励費補助金をいただきました。年金の一部です。ある牧師は「貧者の一灯です」。ある卒業生の祖父は「大海も一滴のしずくから」書いてきました。母子家庭もあり、生活保護家庭ではないかと思う方からの献金もありました。のぞみ教会の洪先生はあひるの家で韓国語講座を二年間開き、その授業料を全額建築資金に捧げてくださいました。引越越しに伴い大型金庫を放出しようと思つてみると思わぬお金が出てきました。解体前に園の備品、家具などを引き取ってもらいました。引き取り料を請求されるだろうと思つていると、業者さんは代金を払ってくださいました。交渉役は母親達でした。卒園生のAMくんは愛用

200万円の夢!



フォルクスワーゲン

していたフォルクスワーゲンのクラシックカーを捧げてくれました。園では一度車検を通し専門業者さんに引き取っていただきました。思わぬ大金でした。

あひるの家では毎月二回朝禱会を開いています。これは全国組織で、日本各地で開かれており地域のため、個人のため、国家のため、世界のためにとりなしの祈りを捧げます。毎月機関紙も発行されていますが、ひかりが新築で苦慮していることを知った編集者のKさんは現状を記事にするように言ってきました。その記事は八月一日号に大きく掲載されました。その結果南は宮古島、北は北海道北見まで全国各地から募金が届きました。親族、同郷の同窓生、友人などの協

力は生涯忘れることはないでしょう。卒園生とその家族の犠牲的な協力には本当に頭が下がります。ある方は二百万、ある方は三百万を捧げてくださいました。

竣工間近になつて募金者を数えてみると七〇〇人を超えています。ある年度の卒業生一同、〇〇グループ一同など団体の人数を入れたら九〇〇人を超えて千人になるでしょう。

こうして総額二億二千万円の工事費について、埼玉りそな銀行からの借り入れは四千万円で済む結果になりました。埼玉県が利子補給を下さるので一般の利子より安い借金を返済になります。これから一〇年かけてそれを返済していくことになりました。小さい園にとつてはじつはこれが難題ですが。

募金趣意書に「For myself, I want nothing. For the Lord, I want everything.」とH.S.パク氏のことばとともに「子どもたちのために大いなることを企てよ。神に大いなることを期待せよ。」と書いたのですが、竣工の段階で神さまは見事に期待に答を出して下さいました。

建築を始めるに当たり「古い園舎にさよならを。ひかりのコンサート」を開きました。二月二十八日の第一回は学芸大二年の千野理々那さん（二五回卒）と音楽仲間が二人、卒園生のご主人の天野耕太さんも曲芸を披

露して下さいました。第二回はミルフィユとそのファミリー、さらに人形姫の皆さん、第三回は東京芸大院卒の加藤麻衣さん（二〇回卒）とシャロンの会、第四回は園舎お別れガーデンパーティーと銘打って父母のバンド「フォース」の皆さん、五回目はザ・インスタンツのお父さん達、おはなしのわが絡みです。六月二十七日の第六回は伊藤ちるさんと野の花、ソレイユの皆さんです。

みんな気持ちよく要請に伝えてくださいました。これだけの卒園生や保護者など豪華なメンバーがそろったからこそ大勢の聴衆を惹きつけることができたのだと思います。

ひかりが蓄えてきた文化の豊かさを感じました。毎回建築計画事務所は模型を展示して説明して下さり、見る者に夢と希望を与えてくださいました。

夏休みに「新しい園舎で待っています。」というカラフルなチラシを作つて新聞に折り込みました。発案者は年長組のHお父さん、デザインは年中組のYお父さん、原案を卒園生でイラストレーターH T子さんに見てもらおうと早速見事なアイデアを盛り込んでくれました。

やはり奇跡の連続

①「どう踏んでも二億円からの工事資金が捻出出来るはずはない。諦めるよりほかはない。」と何度も思つた園舎が間もなく完成しようとしています。これはどう考えても人知では理解できません。奇跡です。読者は奇跡を信じますか？ 天地宇宙が秩序正しく運航していること。人が生きていくために光や空気や水が当たり前のように無料で人間に提供されていること、それらは私には奇跡に見えます。でも今回の建築資金は、それ以上の奇跡に見えます。どこからどのように調達されたのか判りません。神さまは様々な方法でたくさんの奇跡を見せてくださいました。

② 十一月ごろから工事がぎくしやくして

園舎もまた下の子



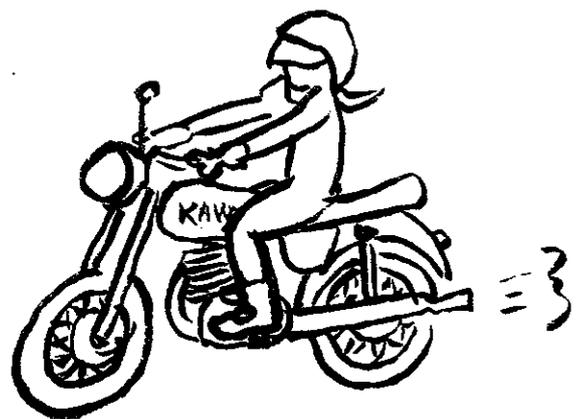
いるのが読み取れました。仕事は進んでいるのですが、いつまでたっても壁や天井が垂木のままです。すでに予約してあった断熱材グラスウールが全国的に品薄になって入手出来なくなつたのです。政府が省エネにつながる住宅のリフォームや新築を後押しするため「エコポイント」を創設したので、その余波でグラスウールが全国的に足りなくなつたのです。安食社長は二月六日付きの朝日新聞をもって駆け込んで来ました。その週のNHK朝のニュースによると、グラスウールをめぐって争奪戦が始まり、値上げになり、現場や資材倉庫から盗難騒ぎもあると報じていました。

緊急に内部理事会を開き入札値より一ランク高く、上質のオーストラリア産羊毛の断熱材を入れることにしました。次の日には工場から送られてきましたが、聞くところによるとそれもやがて手に入らなくなつたそうです。一日違いで、数万円の違いを越えて神さまが解決して下さつたのです。毎日更新していたホームページに「断熱材が入った」というのはついに発表しませんでした。盗難に会いたくなかつたのです。

③旧園舎のリサイクル 旧園舎は二八〇坪にわたって頑丈なコンクリート基礎と木材で成り立っていました。仮園舎建設は仕方がないとしても大きなガラス窓やドア、しつ

かりした家具類、四〇年しか経っていない木材を廃棄処分するのは勿体ないと感じていました。なんとか再利用できないか。ところが木材、アルミ、鉄骨鉄板、塩化ビニール管・はすべて丁寧に分別されてリサイクルに回されました。ガラスは一枚残らず中古屋さんが有料で引き取ってくださいました。基礎部分であつたコンクリートは園外に持ち出して処理するとなれば運搬料、廃棄料だけでも膨大な出費になります。ところがすべて園内で小さく細かく砕かれて園舎周りの土留めに利用されました。しかもそれが素朴な美観を呈しひかりらしい特長となつています。排水溝にもなりました。

④オートバイ事故 五月九日越生の地産霊園で教会の墓地礼拝がありました。私は人との打ち合せが控えていたので食事もそこそこに間に合うように園に帰らなければなりませんでした。帰りは近道を選びながら大型バイクを飛ばしました。ちょうど入間・日高市境の芦刈場交差点に来た時です。信号が黄色になつたので停止線で止まりました。この交差点は右側に梨園があり、青い網が張り巡らしてあります。色々の看板もたくさん立っていて見通しはよくありません。しかも停止線はぐつと下がつた所に引いてあります。信号が青になつたので飛び出しました。そこへ大きな黒いバンが右から飛び出して来



たのです。私は見事に衝突してひっくり返りました。立ちあがろうとしますが身体がいうことをききません。一瞬方角も分らないほどでした。運転者のご主人が駆け付け、他の人達も声を掛け合つて救急車を呼んで下さいました。石心会はすぐに対応して下さいました。

病院の宿泊は一日。愛用していたバイクはめちやめちやになりましたが、私は左腕の内側にかすり傷一つで済みました。しばらくは病院と整形外科に通いましたが、転倒して地面に叩きつけられたのにこの程度で済んだのはやはり奇跡です。神さまの特別な配剤でした。夏休み前後の引越には腰痛で頑張れませんでした。が、神さまは私を「もう少しは役に立たせよう」と生かしておいてくださつ

たのだと感謝しています。

⑤引越しと荷物の保管に関して それは保護者と周囲の方々の善意に頼るほかはありませんでした。行先は石川マンションの一階二室と隣の昭工舎株式会社、そしてあひるの家です。園は勝手にパワフルデイと銘打って三回も作業をお願いしましたが、保護者の皆さんは圧倒的なパワーで完璧にやり抜いてくださいました。ソフトボールのおやじーず、音楽グループのおやじさんたちにもお世話になりました。四〇年間にたまった教具、教材、図書やさまざまの資料を小型トラック、リアカー、台車、人手で運び出して下さいました。本当に有難うございました。

小物はその後も続きますが、解体作業が始まる前夜と前々夜は夕方まで仕事が続きました。暗くなる頃に次々に父母たちが集まりました。いつの間にか園庭にベンチが並び、テーブルに食べ物が並び、やがて月を眺めながらローソクの灯で園舎に別れを告げる晩餐会となりました。

昭工舎さんには恐る恐る保管の依頼書を社長と工場長宛に提出しました。ところがすぐに口頭で返事をいただき「お安いご用です。どうぞご自由に使ってください。」と言って広い工場の一室を空けてくださいました。今も品物が工場内にうず高く積み上げられています。昭工舎さんの善意がなければ園は路

頭に迷うところでした。本当に有難うございました。

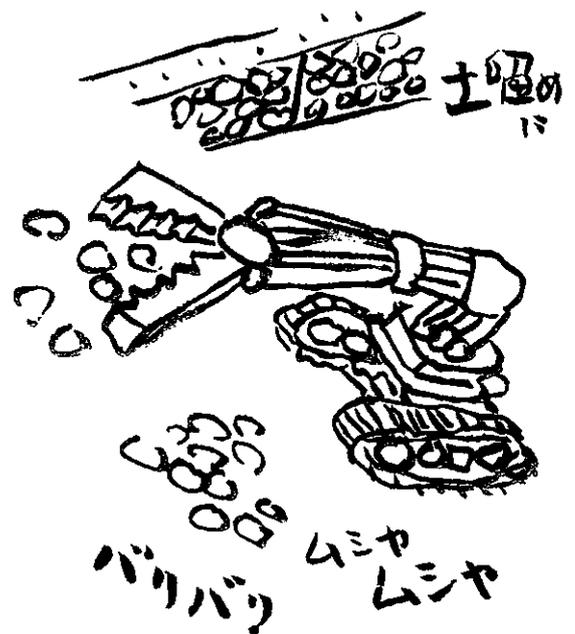
⑥工事の無事故、無トラブル ほぼ一年にわたる工事で、炎熱と時間と建築材料と戦いながら全く事故がなく、トラブルもなく完成を迎えようとしています。これは誠に感謝すべき恵みです。

⑦竣工記念式典 四月二日に献堂記念礼拝とともに竣工式を予定しています。呼びかけに応えて尊い募金を贈ってくださいました方々に新しい園舎を見ていただきたいと思っています。園が四〇年もやってくるころで支えて下さった方々のおかげです。ささやかであつてもお世話になった方々を招き式典とともに銅板展、入間川中学校生徒による祝賀演奏会を計画しています。保護者の同意が得られたら園児の出番等を考慮したいと思えます。神さまの特別の祝福を信じています。

建築に取り組んだ人たち

全体は紹介しきれませんが、主だった業者さんを紹介しておきます。

起工式の次日から園舎の解体が始まりました。重機は大きな口を開けてなじんだ園舎に襲いかかります。土煙を上げながら崩れ



去る木造園舎に水がかけられるのですが、それは涙に見えました。ご近所の皆さんにはご迷惑をおかけしました。更地になると型枠工事とコンクリート工事が始まりました。それらは鶴ノ木に事務所を置く吉松建設さんでした。猛暑が続く中で、見ているだけでも苦しくなるような汗と涙の奮闘でした。とくに打たれたコンクリートの上に鉄筋を組んでいく仕事は、すべてちゆう屈みで重労働でした。ある日スイカの差し入れがありました。

木材による躯体工事は近隣にそうした工場がないので茨城県ひたちなか市の小池住建さんが当たりました。工場ですべての部分加工し、大型貨物車で運んでここで組み立てます。寸分違わぬ工作力には唖ってしまいました。職人さんは大型クレーン車と見事なチームワークで次々に建て上げます。大所帯

で泊まり込みでの通勤でした。

安食建築による木工事は六月から新館の改修工事から始まりました。ついでに二階建てを耐震構造化するために五か所を補強しました。園舎の躯体工事が終わると床、壁、天井、通路、道具棚など最も長期にわたる仕事が続きました。傾斜のついた壁面、垂直でない組み合わせが多く職人泣かせの仕事ばかりです。相当の技術を要求される仕事ですが、朝早くから夜遅くまで連日の大奮闘で、完璧にこなされました。竣工式には全員参加してほしいと願っています。

電気設備は高野電設さん、給水排水の設備工事は奥富設備さん。どちらも地元業者さんです。一〇月の半ばから連日の出勤です。あまり目立たないのですが大切な仕事です。これだけの施設に電気コードや給水管を目にすることなく完全に埋め込まれているのは見事です。

八室にわたる床暖房は武蔵野総業さんでした。外からは一切見えないのですが、寒くなるころから威力を発揮することでしょう。塗装工事は河野塗装さん。見ていただくとは分かりますが、六回七回の下ごしらえのあとドイツ製の植物性無公害塗料オスモカラーがあらゆる壁面に丁寧に塗られています。

窓、ドアのうち子どもたちが使用する部分はすべて木製です。園全体ではかなりの数に

なります。しかも網戸あり、物置の扉、学級の仕切り戸を入れると膨大な数になります。これを一手に引き受けたのは飯能の倉島木工所さんです。二月九日には取り付けが終わりでしたが、見ると一ミリの狂いもなく完璧です。将に工芸品という美しさです。

トイレはもとよりシャワー室、ホールなどタイルの工事は市内のアートたばるさん。すべてにわたって実に丁寧な仕事をしておられます。「美しい」の形容がぴったりです。

屋根は地面からは一切見ることができません。サーナルーフという世界的に評価を得ている材料です。軽くて丈夫、修理もしやすいということ。長野オリンピックの会場と

コンクリート破片一個
ムダにならぬぞー



なったMウエーブやソルトトレイクオリンピックの主会場になった建物に使われて一躍有名になりました。静岡からやってきた四人

組も期間中ホテルに泊りこみでした。特殊な電気ゴテで材料を溶かしつつ、一センチ二センチと接着させていく特別の技能士免許をもった人たちでした。

整地から土塁構築、外構全体、植栽と連日通勤されたのは富士植木さんです。重機で噛み砕かれたコンクリート片を一個ずつ金網に積み上げて土塁にし、芝を植えました。借り住まいの砂場は園にあった竹で作ってくださった。この会社の仕事は園の佇まいの大きなポイントとなるでしょう。

この他構造設計のSIGLO建築構造事務所さん(品川区西五反田)、設備設計のYanada Machinery Officeさん(練馬区関町)、外構設計のプランタゴさんは忘れてはなりません。その英知の結集が敷地面積二五四〇・七八平方メートル、新築面積七五四・二九平方メートルの至る所に珠玉のように光り輝いています。さらに安宅建築計画事務所の渡辺樹さん、シグロ建設構造事務所の堀内綾乃さんなど事務所で実務を担って駆けずり回った若いスタッフにも特別の感謝を捧げます。

園舎の見事さ

園舎はどう見ても見事と言うしかありません。造形的にも機能的にも「美」そのもの

です。

最初から念頭にあった全室をつなぐ大通り(すべての道がローマに続くようにこれはローマ案と呼んだ)と並行する小道。これは園全体が一つの空間になるという仕組みです。文字通り「二つ屋根の下のたくさんの個性」です。

それとともに各室を単独化して個室とする仕掛けもあります。上部はガラス面で下部にはビルトイン式のドアがついています。さらに各学年に一つずつの小部屋があり、相互に小道でつながっています。

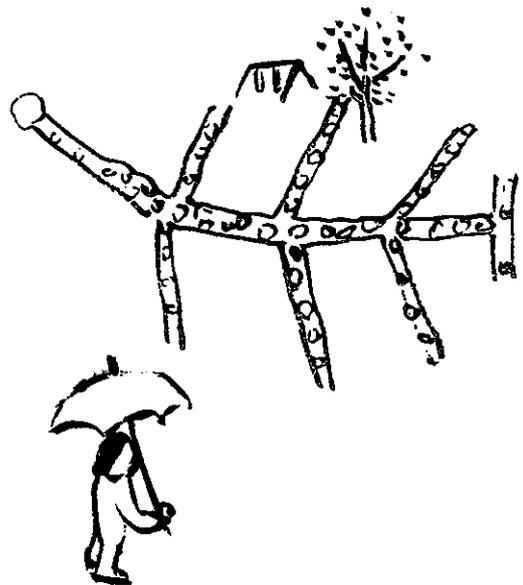
各室とも天井も壁も窓も高さも、素材も造りも、色もそれぞれに違い、強い個性をもっています。ギャラリーのような室、居間のよな室、山小屋のような室、庭のような室と、一つの屋根の下に大家族の住まいが連なります。いずれもガラス面が多くて明るく温かく、木の臭いがふんぷんです。表と裏をつなぐ空間は、風通しがよくどつちに出ても遊びがすぐに始まるでしょう。すべての床は都市ガス利用の全面床暖房です。

「全ての子どもが尊重される」環境を模索して心身にハンディキャップをもった人々のために車いすOK、トイレ、着替え室、洗い場などを設け、すべてバリアフリーにしました。うまくふるまえば国庫補助金の対象になるところでしょうが、この際理想優先で自

費でやってしまいました。

ホールは特にすばらしいです。アールのついた垂壁、広さは一三五平方メートル。物置を四つ従え、後方はFRPで明かりをとってその床部分はタイルを使用しています。ホールでありながら庭の要素も兼ねているのです。台所にも隣接していますからタイル張りには似合うでしょう。一見庭かと思うくらいです。とても広々と見えるのは魔法が掛けられているからでしょう。はめ殺しのガラス、開閉できるガラス戸、ステンドグラスが三枚つきます。以前から二枚はあったのですが、新築を機に新しくデザインした「ブドウの樹」を入れることにしました。ヨハネ一五章冒頭の「私はブドウの木、あなた方はその枝である。」から取材しています。製作はさいたま市のバロックさんです。

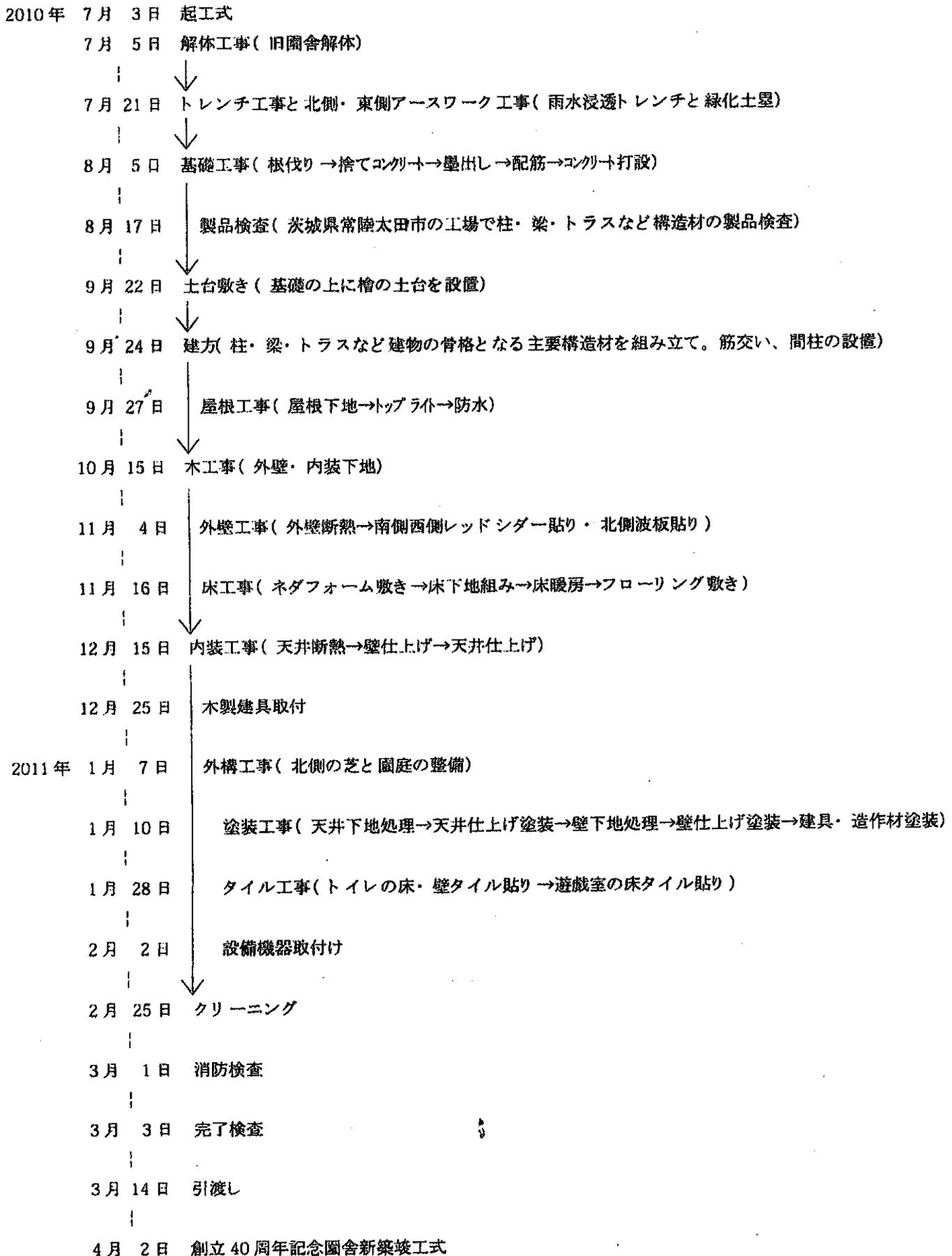
運動場に面する通路はウッドデッキ、南端のプールに続いています。年少組はシャワー室も備えています。庭に面した通路には三つの足洗い場があります。もちろん水道水も用意していますが、ドラム缶に雨水を貯蔵して水遊びに有効活用しようとする試みです。それには天水を仕分けするドイツ製のフィルターがついています。文章ではうまく説明できないのですが、さすがに有効活用を意図するエコ先進国のアイデアあふれる作品です。



園舎の北側の裏庭はまさしくガーデン。芝生と木々に囲まれて癒しの空間です。前庭も以前よりずっと広く、地下には魚の骨のような形の雨水の浸透層が走っています。夏には埼玉県の助成金でさらに野芝部分を拡張する予定です。

どの部屋からも外が見えますが、座った目線には土塁の上にシラカシ、イボタノキ、ヤブニッケイが植えられています。やがてグリーンベルトとなり目を楽しませてくれるでしょう。園庭には新しく二本の植樹をしました。そのうちの一本は韓国統営市(狭山市の姉妹都市)の金東鎮市長さんが贈呈して下さることになりました。日韓両国の永遠のシンボルとして大切に育てていきたいと思えます。

狭山ひかり 幼稚園 竣工までの流れ



狭山ひかり幼稚園のあゆみ

- 70・3・31 学校法人石川学園及び狭山ひかり幼稚園設立認可される
- 4・17 開園式 翌日第1回入園式
- 71・3・15 文集「木洩れ陽」第1号発行（現在41号発行）
- 8・23 初代理事長・園長石川求助死去（狭山市葬）名誉市民となる
- 10・1 第2代理事長に石川昭三、第2代園長に東みね就任
- 72・3・1 園舎を2教室増設（定員160人となる）
- 7・15 水泳プールを設置
- 11・7～13 埼玉県教員海外派遣で欧州4カ国訪問（東）
- 75・2・5 埼玉県私立幼稚園協会から研究委嘱「子どもの遊びと手の働き」
（76・11・9 県私幼教員大会で内容を発表）
- 4・1 第3代理事長・園長に東喜代雄就任
- 6・1 狭山市長から環境功労者として表彰される
- 12・20 ハクチョウの池設置 県大宮公園から2羽のハクチョウをいただく
- 76・10・1 1教室を増設
- 77・4・1 シャワー室を新設
- 10・1 第2代園長東みね死去（幼稚園葬）
- 78・4・1 第4代理事長に石川昭三就任
- 9・19 第1回さんさんコンサート（管弦楽演奏会・入間市民会館）
- 12・15 東みね記念館を建設（「新館」と呼ぶ）
- 80・9・27 第2回さんさんコンサート（ボニー・ジャックス 狭山市民会館
創立10周年記念事業）
- 82・2・21 狭山市社会福祉協議会から「住民福祉向上」について感謝状をいただく
- 3・31 職員室を新館に増設
全国心身障害児福祉財団「ふれあい事業」について感謝状をいただく
- 12・3 第3回さんさんコンサート（立川清登 狭山市民会館）
- 84・10・23 第4回さんさんコンサート（劇団四季 狭山市民会館、創立15周年
記念事業）
- 85・7・15 新プール設置
- 7・19 文部省・県教育委員会の研究委嘱「園と家庭の連携」研究を発表
- 86・5・15 卒園証となる銅板の「銅板展」を開く（西友小手指店で21日まで）
- 90・7・10 炊事室を新設
- 8・9 創立20周年記念 星野富弘「花の詩画展」（入間丸広店で14日まで）
- 91・3・24 狭山市社会福祉大会で同会長名の感謝状をいただく
- 10・1 狭山市工事で園舎周りにアルミフェンスが設置される

- 92・4・1 隣接の住宅を買収・年少組の保育室とする
- 92・5・22 第5代理事長に石川信男就任
 - 6・3 第2、4代理事長石川昭三死去（幼稚園葬）
- 93・5・1 未就園児の集い「このゆびとまれ」が始まる
- 94・4・10 ミスター・ブリンクマンの英語活動始まる
- 95・9・1 新しいひかりのロゴマークを決定（菅谷建夫氏作）
- 97・4・1 園長が国立音大教育音楽学科講師を兼任
 - 6・6 門扉「大きなかぶ」設置
 - 10・3 デンマーク製大型木製遊具2基を設置
- 00・2・15 ひかりのホームページを開設
 - 4・18 預かり保育を始める
- 01・3・18 こぶしツリーハウス設置（卒園記念品）翌年増設
- 02・9・3 ハクチョウを贈られて歓迎会を開く
 - 9・19～22 河井ノア原画展（20日講演会）
- 03・10・9 「夢のトカチン王国」（東京12チャンネル）水場完成除幕式
- 04・11・8 サクラツリーハウス完成引渡し式（卒園記念品）
- 06・4・10 園長が大妻女子大児童学科講師を兼任
 - 9・21 泉明美わくわくアート始まる
- 07・5・17 チャリティーバザー開く
- 08・4・1 第4代園長に東温子就任
 - 10・28 創立40周年記念事業 横田早紀江講演会（狭山市民会館）
- 09・5・16 ひかりマーケット開く
 - 11・14 園の誕生を祝う会・園舎お別れ会
- 10・2・28 「天空に響け ひかりコンサート」を開く（6月まで6回開催）
 - 5・8 園舎お別れガーデンパーティー
 - 7・3 園舎建築起工式
 - 7・5 園舎解体及び建築工事始まる
- 11・4・2 創立40周年記念事業 園舎新築竣工式

植えこまれた木々は四季折々に果実をもたらし、また目を楽しませてくれるでしょう。すでにsさん、園児、卒園児のmさんからの寄付申し込みも届いています。

新しい門扉が設置されようとしています。三月中旬の引き渡し式には完成しえていることとでしょう。いま岩手県盛岡の工場で製作中です。「大きなカブ」のデザインも、安宅夫妻によって創られた二人が肩を組む銅板のモニュメントも復活します。これも目を見張るような斬新な作りだろうと楽しみにしています。

建築、塗装、設備などすべてに匠の技が光っています。それを導き出した想像力、設計力、さらにそれらを完成させた職人さんたちの技術力とチームワーク。竣工の暁には建築関係者、研究者たちが注目するところとなるでしょう。すべてはアタカケンタロウ建築計画事務所とゆたか建設、および関連業者さん達のおかげです。

これからのこと

今後は園児と地域のために有効に、しかも大切に使うていかなければなりません。神さまに喜ばれ、人々に愛される幼稚園として豊かに用いられることを切望しています。特に今回は八百人以上の方々の方々の応援で園舎が建

ちました。これらのご厚意に報いるためにも地域のために役に立つ「開かれた幼稚園」として機能していきたいと考えています。



最後に石川信男理事長には特別に感謝を捧げます。私達現場のわがままを聞いて、ゴーサインを出し、全身で建築を遂行されました。銀行や県庁に出かけ、業者さんと交渉し、見事に完成に導いて下さいました。子どもたちにも親たちにもそして未来にも大きな夢をもたらして下さいましたことを心から感謝いたします。

園舎建築献金者ご芳名一覧

(2011年3月30日現在)

(株) DNPアイエムエス品 質管理課	安齋 博雅 アソシエイト	一色 浩司・こうき	上地 志文
(株) アルファステップ窪田 喜彦	安藤 貴明・菜穂子	伊東 潤二・貴美・奈保	上松 順・恵美・朝子
(株) エスケイ美創 榊原貴 雄	飯田 潔	伊藤 尊・萌	内山 凱雄・瑛梨奈
(有) パラビジョン(竹内恵) 「おはなしのわ」	飯沼 慶	伊藤 ちる	内山 寛子・絵美子
33回卒園生	飯森 昌三	伊藤 美保	鶴岡谷美千代気付盛岡朝樹会
愛工業株式会社	猪狩 歩美・貴史・彩恵	伊藤 義男	鶴ノ木接骨院
相沢則夫、昭夫、順子	生田 晃三	伊藤 義雄・真理子	鶴の木接骨院
愛智 勝江	伊久美 寛志	伊藤 好清	海津キリスト教会
愛智 直行	池座 幸治	伊藤 好春	梅沢 心春
ITサポートユーアイ	池座 寿子	稲田 英孝・有紀・孝典	梅沢 光彦
青井 加奈枝	池田 香奈	稲田 星・勤・牧子	梅林奈月子・里香子
青木 晃、正子	池野 みのり	乾谷 正樹	占部 恒一
青木 健治	池野 民基・華乃	井上 早苗	江口 美枝子
青木 葉奈美	入佐 一彰	井上 修	榎本 秀行
青木 広幸	石川 紋子・真弓	井上 俊一郎	遠藤 欣二
赤星 達郎・幸	石川 和宏	井上 千賀子	遠藤 利孝
浅野 拓	石川 和之・晃子	井上 まゆ子・修平	及川 賀子
浅見 貴寅	石川 賢治	井上 泰孝	大浦 崇
浅見 政信・昇栄	石川 紘一郎	いのちの樹教会	大江 宏
安食 一	石川 幸子	いのちの樹教会マナの会	大江 美帆子
安食 一・陽子・春花	石川 山治	猪爪 久子	大久保 眞一
網代 和隆	石川 太一	今泉 克子	大久保 悠祐
安宅 家族一同	石川 拓也、亜弥	岩井 妙子	大久保 玲子
安宅 研太郎	石川 民夫・美佐子	岩佐 和弘	大嶋 義隆
足立 和基	石川 信男	岩佐 幸一・心葉	太田 恵美
渥美 知香・孝郎	石川 嘉則	岩崎 淳	太田 直一
阿部 和美	石川 嘉彦	岩崎 由美子	太田 礼子、愛菜
阿部 雅紀	石黒 エリカ	岩澤 かおり	大館 貴光
網干 立身・恵子	石塚 絵理	岩沢 謙作	大塚 大介
天野 耕太、季子、冬詠	石塚 聡	岩澤 淳一	大塚 真
天野 美智子	泉 明美	岩澤 忠洋	大坪 恵美
新井 清彦・裕司	泉平 青一・唯	岩澤 千代乃	大坪 幸子
新井 弦・さくら・潤	磯 倫太郎	岩澤 哲也	大野 伸一・雅登
荒井 聖知、唐半 紗代子	磯川 正朗・磯川 喜之 五十子 寿彦	岩澤 伸子・友佳・友樹	小形 語陸
新井 貴行	井田 志乃	岩澤 英樹	岡田 孝司(卓也)
新井 昌章・明美	依田 肇	岩沢 洋平	小形 和瑚・紗楽
新井 好子	依田 裕子	岩沢 理恵	岡野 拓真、美月
新川 路里子・美湖	市川 拓実	岩嶋 秀明	小川 香代子
荒木 伸仁、智美、福祉、拳 社	市川 洋之	岩淵 まこと・由美子	小川 高志
荒木・本間・宮本・山田	市川 祐介・凌	岩堀 直二・智子	小川 範子
有吉 かな子	市川 容子	岩間 秀彬	小木曾 弘司・真帆
有吉 恵子	市之川 修二	ガイナートクリスタルフェロシブ 所沢	奥田 宏治
アルベルティニ容子(田頭)	市之川 真悟	植木 一由	奥富 岳史
	一場 啓人	植木 健介・明花	尾崎 智子
	一場 孝男、啓人	植木 徹	小澤 正子
		植木 美憲	小沢 玲子・慶子
		上治 琴乃	小澤 巨輝・柊斗
		上杉 啓・道子	小島 ふじ乃・みなと

小島 麻友美	川田 稔子	郷家 一二三	坂上 俊宏・喜美江
小高 弘安	川鍋 勝幸	郡山 義昭	坂上 善規
小谷 育代	川端 啓城	古賀 邦子	坂根 裕一
小野 秀樹	河村 賢吾	五期会	坂野 勉・雅代
小野寺 亜紀子	河村 幸治	小串 武史・恵子	佐久間 信樹
小野寺 圭子、智子	川村るみ子・宮嶋正子	古口 保久	桜井 康太郎
小野寺 学	川本 英樹	小坂 嘉嗣・由紀子・望美・ 愛美・浩美	桜井 千代子
小見 靖彦	岸 啓治郎	小坂 嘉嗣・由紀子	桜井 恒久
おやじー'S	岸本 訓宏	児島 彩香	迫 哲郎
甲斐 征次	北川 智規	小島 大輝、咲輝	笹川 智子
海津村教会マミーズ	北川 博敬	小島 大洋	笹川 裕司
貝原 千代子	北澤 潤子	小島 孝弘	佐々木 照
柿沼 智瑛、悠登	北原 満	小島 綱久	佐々木 キヌエ
柿沼 洋子	喜多村 学	小島 綱弘・井上温章	佐々木 健
笠原 真豊・理湖・七夢	北山 健太郎	小島 俊光・孝代・妙子	佐々木 聡子
笠松 智幸	鬼頭 大河	小島 雅美	佐々木 俊介
柏川 太郎・龍馬	木野村 葉央・未歩	小高 弘安	佐々木 文則
梶原 智子	木場 隆文	小手川 信弘、加代子	佐々木 真理
梶原 ひとみ・燕平	金 珍姫	こどものとも社	笹山 弘子
春日 愛	金 玲姫	小林 直樹	笹生 靖之
春日 京子	木村 宏一	小林 宏	里井 睦平(宏輝)
春日 隆宏	九万田 有紀子	小林 美保	佐藤 清治・洋子
粕谷 聡子	興五澤 淳子・友恵・航平	小林 祐子	佐藤 たまき・はるか・俊介
粕谷 三郎	キセラ 仁未	小林 由季	佐藤 敏美
かたぎりクリニック	草刈海人	小林 陽子	佐藤 信男
片山 善久	葛生 奥森	小堀 八千代	佐藤 政敏
勝田聖齋教会	葛生 翠	小見 靖彦・牧子	佐藤 美香子・喜範
加藤 英明	楠 利文・桑折 欣也	小道 嘩	佐藤 翠・藍・竜太
門松 しのぶ	楠山 健一郎	小道 豊・光公子	佐藤 幸雄
門松 のぞみ	楠山 大輔	小道 里香	澤田 亮
金子 佐紀	工藤 敦子	小宮 慶士	三角 皓三郎
狩野 梢来・丈太郎	久野 武治(敬之・健次・洋 佑)	小宮 剛一	椎葉 一行
加登 住道	久保 和子	小山 利夫	塩田 藍
鎌田 光則	久保 耕造	コンサート募金	塩田 勇
鎌田朝禱会(陽光)	窪田 太輔	小高 弘	塩谷 絵里・伶
神谷 周一郎	熊谷 節子・真理	齋 みなみ・あゆみ・ちひろ	茂 厚子
神山 菜摘	栗田 和哉・弦	齋 康貴	宍戸 志津子
榎根 わかば・ちひろ	桑折 匡祐樹	埼玉西武朝禱会	四條 美枝、一美
唐津ルーテル幼稚園 佐々木 なほみ	桑折 欣也	斉藤 修司	信太 紀二・敏子
川合 弘明・公二	桑野 英美子	才藤 文子	志戸摩 明宏・郁弥
川口 菜摘子	桑原 聖	斉藤 真紀子	渋谷 武史・仁美
川崎 壮夫(進・歩)	K.K	斉藤 実咲	渋谷 とし
川崎朝禱会世話人代表伊地花 江	小泉 篤史	斉藤 道哉	嶋田 紀子・明子
川下 康太郎	小出 昭(中野一恵)	サイトウカズノリ	嶋津 政行
川島 明日香	鯉渕 新吾、史子、立吾	斉藤ファーム	島津 マツエ
川島 楓	幸坂 洋子	Theインスタント	清水 直子(旧姓地山)
川島 勝哉	河野 敏和	佐伯 瞭	下村 忠宏
川田 昭雄	河野 似美	酒井 勇輔・佑果	下村 幸宏
	河野 優子・皓子	堺朝禱会(一同)	十島 英明
			白井 範子

白垣 宏三	高野 満	同窓会係	西澤 圭太・直矢・光
城間 淳子	高橋 加奈	東横朝禱会 (野村晋一)	西村 賢次
神保 仰	高橋 航之介・峰登	徳永 純子	西村 祐斗・遥己
新保 香葉	高橋 通展	匿名希望 16名	仁平 正吾・敏江
菅谷 健夫・淳子	高橋 裕教	戸澤 賢樹・政美	仁平 孝・裕子・光徳
菅谷 由香子	高橋 寛幸・和弥	富永 恵夫 (福田仁奈・鈴木由里奈)	日本基督教団武蔵豊岡教会
杉山 美智子	高橋 裕子	ともしびキャンプ場	二村 長成 (泰樹)
杉山 凜太郎	高橋 良行	豊田 千鶴子	丹羽 勝巳
菅沼 節子	高柳 清	内藤 正和、志乃	人形姫
鈴木 明子	高山 和明	仲 怜子	年中有志
鈴木 謙一	田口 三樹夫	中川 行彦 (和之、雅之、剛之)	年長有志
鈴木 里実・良実・利依	武田 好史・知子	中澤 佳子	野口 兵衛
鈴木 滋	竹野 志津江	中澤 壮吾・碧	野田 喜裕
鈴木 俊吾	竹之内 雄太・里佳	長澤 拓也	野月 タツ子
鈴木 大稀	武政 和浩、麻奈	長澤 望美	野々垣 ふみ子
鈴木 徹	田代 明子	永澤 洋三	野原 智美
鈴木 俊行	田中 修	長塩 明德	野村 佳男
鈴木 弘江 (小高)	田中 壮一郎	長島	河 成海・洪 性姫
鈴木 宏	田中 千恵子	中島 清・柳子	河 奈生子
鈴木 瑞穂、俊行	田中 敏夫	中條 守康・知香・安規子	伯 達
鈴木 美智子	田中 敏紀	中杉 正伸・敦子	伯 龍二
鈴木 ヤス	田中 裕子	中田 光夫	橋爪 健太郎
鈴木 喩香子	田中 義男	中津 幸子	橋本 和典
鈴木 澧正	谷水 潔	中野 恵理子	橋本 大祐
須田 広明・由美子・美和子	谷水 めぐみ	中野 一恵	橋本 朋典
須永 浩一	谷水ファミリー	中野 聖弥・友子	橋本 盛義・純一・彩子
須永 浩太・祐人	単立・埼玉キリスト教会 牧師平田孝	中野 隆司	長谷川 大輔・素子
諏訪部 尚子・友花	千葉 信也・光子	中野 嵩士	長谷川 瑞月
税所 妙子	千葉 哲也	中野 正治	長谷川 光子
瀬音 龍夫	地山 哲夫・葉子・志保	中林 菜摘	長谷川 友芽子
関根 麻衣子・かおる	猪合 拓馬・千尋	長嶺 修	桑 素子
関野 努	塚越 正樹	長嶺 史門・花音	服部 美智子
関野 稔	塚本 和子	中村 敦子・揚子	浜田 康弘
瀬戸産婦人科医院瀬戸致行	塚本 一博	中村 彰甫・日向子	浜田 里江 (篤・尚)
舟腰 将人	塚本 千鶴子	中村 直人 (孝一)	濱野 綾音・智彌
外越 初子	佃 直人	中村 星介・美波	浜野 良一
第2大麻幼稚園 安藤陽子	柘植 利幸	中村 まゆみ	林 茂喜
第39回卒園児一同	辻 えりか	椰良 拡	林 珠紀
高垣 彩佳・裕佳	辻本 博之	那須野 亜由子・智大	速永 悦夫
高木 克弘・健州	土屋 楓	夏井 智美・恵美	早野 伸江 (関谷)
高木 克弘・健州	津留 一敏	鍋島 洋	原島 文子・貴史・直人
高篠 秀光	鶴田 猛	奈良 朗・ラムーン	原田 しのぶ
田頭 絃子、アベ 新直美	出口 浩之、陽子	奈良 一元	阪神朝禱会向井敢
高田 慎	手塚 朋子	成木屋材木店井上好史	東 昭吉
高田 航平	手塚 久晴	南波 良子	東 喜代雄
鷹取	寺尾 有人	西大路 隆範・洋子	東 袈俊
高野 和馬、航佑	寺地 勇登、徹	西川 信子	東 真也
高野 恭子	土井 ひみ子	西川 恵 (榊原美千代)	東 晴也・亜以子
高野 典子	東條 晋悟		東 洋子 (孝太郎・誠二郎・あずさ)
高野 麻里			

東 義也・千春
東 温子
東吾野礼拝教会
東さんちのお菓子屋さん
東弟妹会
ひかり会
ひかり会有志
ひかり現職職員会
ひかりコンサート
ひかり退職職員会
日高 真由美
人吉高校五期会
HUKINS
平居 千暖・尚記
平井 日出夫
平島 誠
平田 絃子・
平林 茂隆
深谷 祐介・良平
福島 正子
福島 由紀
福田 和恵・俊明
藤尾 昌弘
藤田 和子
藤田 武充
藤田 倫寛・佳子・素三
藤田 勝・玲子
藤田 三枝子
藤田 好基・千恵子
藤村 茂人
藤本 滉一
藤原 宏
古山 ゆみ
星 武志
星 由貴美(町田)
千野 幹信
細田 陽子(桑野)
細谷 季子
細谷 洵子
細谷 孝
北海道植木商店
堀川 由美子
堀口 忠八郎
堀口 正裕
洪 性姫
本田 享
本田 浩
Michael Brinkman
前田 昭・典子・小晴・恭平・
小鈴

前田 高嶺
籙 綾(大久保)
牧野 荘太
間島 直之
増住 章子
町田 繁人
町田 ひなの
松浦 侑生
松尾 強一郎
松尾 好子
松岡 孝
松木 誠拓
松木 芽久美
松崎 秀昭
松崎 玲子
松田 博文
松田 良一
松村 泰樹・真衣
松本 明世・佳世・淳
松本 晃
松本 彰二
松本 慎一・寿昭
松本 拓磨
松本 裕夫
松本 浩子
松本 寛・とみ子
松崎 可実
松崎 小桃
丸茂 啓介・朋子
丸山 健樹
水木 まゆ
水木 めぐみ
水村 美智子・括麻
三田 敦子
三田 裕之
湊 吏希子
源島 駒男
宮川 英代
宮川 瞳・萌
三宅 久・久子
宮古朝拝会
宮佐 隆義・伸洋・理恵
宮崎 朋美
宮下 郁生
宮嶋 啓
宮嶋 玲
宮寺 晴子(岸本)
宮根 進
宮根 裕
宮根 真理

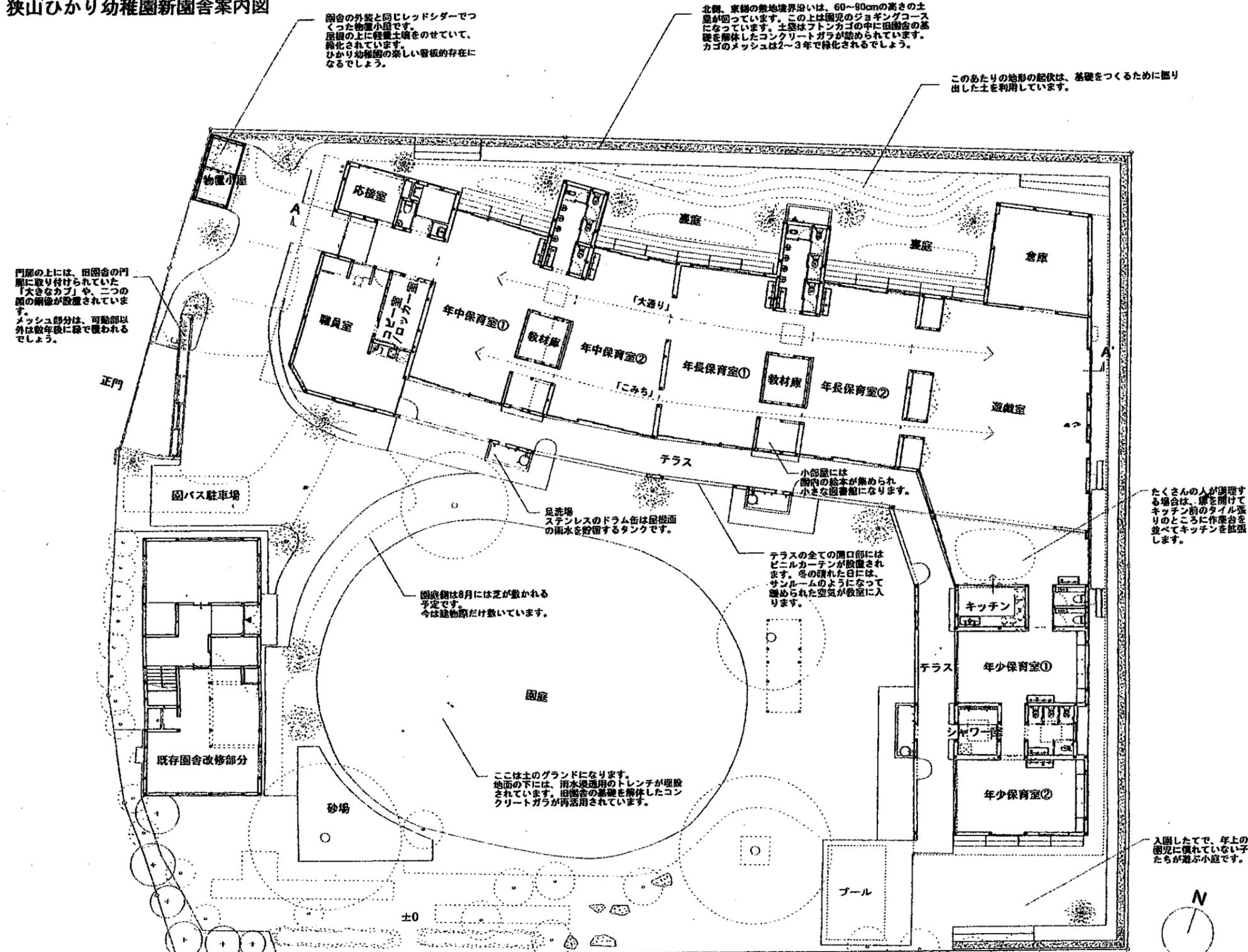
宮野 裕
宮本 慶子
宮本 紗希野・佳苗・千草
三好 晴夫
武藤 智彦・里奈健弘
宗内 久美子
村岡 隼仁・由樹
村上 敦史・昌史・規子
村上 輝芳
村上 亨司
村田 龍一郎(遼平・朋也)
村松 優法・大聖・志人
村松 龍
森 政江
森 貞子
森石 智明
森石 雅明
森川 理恵子・中島太樹
森口 明典
森口 和樹
森口 徳義・美智代・孝輝・
拓海・和樹
森下 寛子・裕志
森下 真樹
森田 悟史
森田 浩史
森光 啓明
森山三兄弟
諸井 由美子・彩子
矢島 由美子
安田 一美
安田 典功
安田 康彦・田中理恵
柳迫 祐・謙・彩
柳橋 航太・知花
築瀬 直子・智子
山内 薫
山岸 一博
山岸 義弘
山崎 あかね
山崎 圭一
山崎 雅人
山崎 芳仁(弘芳・泰・祐)
山崎 玲生・風子・夢子・明
人夢
山崎ファミリー
山下 貴史
山田 和子
山田 一三
山田 高子

山田 真理花
山田 袖那
山田 洋一
山田 凌太郎
山館 展弘
山並 春記・ツタエ
山本 剛志
山本 多美子
湯本 文子
横島 恵・健太
横枕 芙美子
横山 和則・陽子・萌子
横山 智信
横山 秀洋
横山 勇次
吉川 達史
吉崎 萌美・遥
吉沢 央志・原
吉沢 由記子
吉田 薫
吉田 清則
吉田 華
吉田 政晃・葉子
吉峰 宏太郎
吉峰 史佳
吉村 道子
六本木朝拝会(野村晋一)
若林 (小手川) 真美
若林 (小手川) 真美
和田 秀一・京子
和田 律子
渡辺 愛子
渡辺 樹
渡辺 武典・美佐枝
渡辺 奈津子(藤岡)
渡邊 牧人
渡辺 翠・薫
渡辺 裕美子
蕨福音自由教会

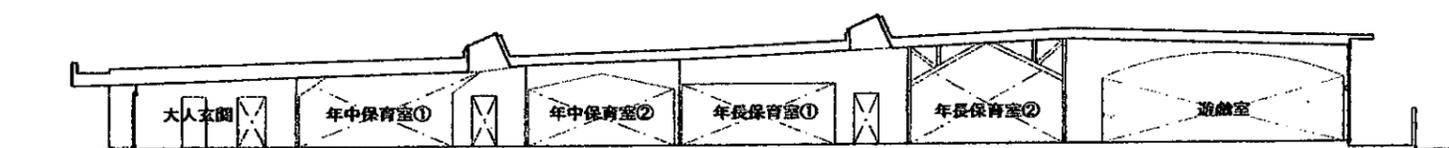
計768件
(五十音順、敬称略)

ありがとうございました。

狭山ひかり幼稚園新園舎案内図



配置図 S=1:250



園庭と裏庭の両方に面するように様々な形の教室が並んでいます。その教室群をぶちめくように2本の通り状の空間が横断しています。この通り状の空間に立つと、同じ場所であっても、園庭の方を見ると教室の空間性が現れ、通りの方向を見ると小さな街並みのような空間性が現れます。ここでは各教室が環境の差異として捉えられ、圧倒的に活動の選択肢の豊富な状況が作りだされています。一人ひとりの園児が、園舎のすみずみまでを自分のものとして、イキイキと遊びまわることができるような、そんな幼稚園を目指しました。

狭山ひかり幼稚園新園舎データ
 敷地 埼玉県狭山市鶴ノ木7-18
 敷地面積 2540.79m²
 建築面積 760.87m²
 延床面積 682.50m²

設計 アタカケンタロウ建築計画事務所 担当/安宅研太郎 渡辺樹 小田木確郎(元所員)
 構造設計 SIGLO建築構造事務所 担当/山口吉紀 堀内綾乃
 設備設計 YMO 担当/山田浩幸 関田優子 小熊咲登子
 造園設計 プランタゴ 担当/田瀬理夫

施工	ゆたか建設	防水	元日ビューティ
基礎	吉松建設	木建具	倉島木工所
構架	小池住建	ガラス	小畑ガラス
電気	高野電設	造作材	カクニ木材
設備	奥富設備	金属	細田鉄工
温水器	高山兄弟商会	カーテン	市川内装
ガス	武州ガス	タイル	タイルアートたばる
床暖房	武蔵野総業	外構	富士植木

アタカケンタロウ建築計画事務所
 〒171-0033 東京都豊島区高田3-3-22開成館ビル3F
 TEL:03-3202-7672 FAX:03-3202-7673
 ホームページ www.ataken.com blog ataken.seesaa.net
 eメール info@ataken.com

安宅研太郎/アタカケンタロウ 一級建築士
 1974*埼玉県生まれ
 2001*東京芸術大学大学院建築科修了
 2001~2006東京芸術大学非常勤助手
 2001~2003一級建築士事務所 アタカケンタロウ建築計画事務所 設立
 現在、東京芸術大学、芝浦工業大学、京都造形芸術大学、東京電機大学、武蔵野大学で非常勤講師を務める

2000*SDレヴュー2000入選「HAYAMA beach house project」
 2002*アートベンチング優秀賞・タウンアート賞「Promising cloud」
 *神奈川県立保健福祉大学アート計画案優秀賞「Riplink」
 2007*東京建築士会住宅建築賞「タカハギハウス」
 2009*日本造園学会造園作品選集2010入選「シャノール研修センター」
 2010*日本建築学会作品選集2011入選「シャノール研修センター」
 2011*日本建築学会作品選集受賞「シャノール研修センター」

ゆたか建設株式会社
 〒350-1331埼玉県狭山市新狭山3-10-23-3F
 TEL:042-953-2379 FAX:042-953-1487
 ホームページ yutakakensetu.com
 eメール yutakakensetu@nifty.com

昭和46年創業から真心こめて、人にやさしい住宅を建てました。飯能の木、自然素材などこだわりのある住宅を提供出来るように日々努力しているアットホームな会社です。住宅から店舗、幼稚園まで何でもご相談ください。